

令和5年度鶴岡市市民まちづくり活動促進事業

事業名 遊劇祭2023

まちづくり基本コース_遊劇祭2023実行委員会

0. 「遊劇祭」について

YÜGEKISAI

遊劇祭

2003

8.24(sun)~
9.28(sun)

◆企画意図
遊佐町吹浦の大物忌神社の近くに米屋さんの倉庫があります。この倉庫では、たくさんのイベントが行われてきました。地元の劇団「無人駅」の公演や音楽作家で詩人のねじま正一さんの詩の朗読会、井土つぎ映画の上映会、そして平田オリザさん率いる劇団「青年団」の公演など。しかし、この筒井米穀店倉庫も老朽化が進み、来年取り壊すことになりました。場所には、愛着が湧きます。思い出の詰まった倉庫に感謝を込めて遊劇祭2003という催しを企画しました。

場所
筒井米穀店倉庫
〒0234-778-0002

●通し券/8,000円(限定20枚)
●出演者・スケジュール詳細は下記の通り
●チケットの問い合わせ
※田代子劇場 0234-23-3248

音楽の午後
8月24日(日) 午後1時30分
ハウスコンサート

出演
渡部 啓三(ヴァイオリン、ピアノ)
元NHK交響楽団、群馬市出身
富松 万里子(ピアノ)
関失 順(歌)(酒田市在住)

料金 前売り.....2,000円
当日.....2,500円

朗読の夜
9月5日(金) 午後7時
大人のための朗読会

出演
おつき ゆきえ・村井 明

料金 前売り.....2,000円
当日.....2,500円

音楽の夜
9月25日(木) 午後7時
音楽

出演
山根麻以 + New Archaic Smile

料金 前売り.....2,000円
当日.....2,500円

舞踏の夜
8月28日(木) 午後7時
独舞会

出演
森 繁哉
(舞踏家、東北芸術工科大学助教授)

料金 前売り.....2,000円
当日.....2,500円

映画の夜
9月11日(木) 午後7時
活動大写真

■活動写真「サンライズ」
(原簿「カクミ」賞、主演女優賞(1927年))
活動脚本 佐々木康希子

料金 前売り.....1,500円
当日.....2,000円

演劇の夜
9月27日(土) 午後7時30分
9月28日(日) 午後7時30分
演劇

出演
■劇団青年団公演「ヤルタ会談」
作・演出/平田オリザ
■劇団エッグ・プロジェクト公演「アキス」
作・演出/山根麻以

料金 前売り.....2,000円
当日.....2,500円

出演者・監督紹介

渡部 啓三
前国文音楽大教授。子どもたちに生の音楽の音を聞かせたい。平成19年から東京市内の小中学校でハウスコンサートを開催。夏祭りにも当番から同行。今回は関失さんがゲスト参加。

森 繁哉
舞踏を学ぶ、クラシックバレエ・コンテンポラリーダンス等習得後、現代舞踏の道へ。大地に根ざした舞踏のダンスで日本を代表する舞踏家の一人として現在活躍中。第1回の遊劇祭で公演。

おつき ゆきえ
新潟市出身の朗読家。朗読を最木村功次と結伴。1989年から約10年間で数々の「おもしろい」イベントを主宰。2000年から「おもしろい」の「おもしろい」を主宰し、本格的に「おもしろい」を活動の中心に活動。心を開き、生かす活動で、生かすにも大人から子どもまで多くのファンを持つ。

村井 明
鶴岡市出身。在任、朗読家、黄金工師を主宰。1999年、鶴岡市助産師。2002年、朗読家・朗読団、朗読活動を開始。

佐々木 康希子
酒田市出身。NHK山形放送局でキャスターをした後、日本でも数少ない活動弁士として活躍中。

石川 浩之
東京市出身。若下11歳で長年注目の長編舞踏を受賞してデビュー。シネマ・ダンス・映画・演劇を学んだ。この映画を自主制作し、劇場公開。35回のIN THE BOATにも監督として参加。

佐藤 広一
1977年茨城県生まれ、在任、高校入学生徒から朗読活動。「心と目」で1989年度朗読家プロフェッショナルコンテスト受賞。2000年自主制作映画「情熱」を自主制作。

山根 麻以 + New Archaic Smile
山根麻以さん、葉子さん、鏡さんの3姉弟を中心にしたグループで、様々な活動に携わった音楽家達。特に「ふつろの唄」は音楽、ハスキーな声と打楽器は原形に独特の音楽性を展開させていく。

平田 オリザ
桜美林大学助教授。「東京100」で活動曲賞受賞。雑誌「アキス」の編集長も務めた。読者の声を聞き、ワークショップにも積極的に取り組む。著書に「音楽と演劇」「おもしろい」など。遊佐町で朗読している。夏目 かつ

遊佐町出身。高校、大学で演劇部に所属。役者の専ら、演劇者になる。

池田 はじめ
遊佐町出身。劇団「無人駅」を経て、エッグ・プロジェクト主宰。演劇の作・演出の地。市民劇や様々な新しいプロジェクトを企画。

お問い合わせ先 ▶ 〒999-8431 山形県飽海郡遊佐町大字遊佐町字十里塚178 ☎090-2976-5578 池田はじめ

●主催/エッグ・プロジェクト ●宣伝/デザイン/渡部 啓 ●協力/筒井米穀店、酒田親子劇場、エキパド・遊佐、劇団青年団、あどりぶシアター、山形自主制作映画協会 ●後援/遊佐町、遊佐町教育委員会、飽海公民館

遊劇祭は遊佐町吹浦の大物忌神社の隣にあった筒井米穀店倉庫を会場に1996年と2003年の2回開催されている。その当時から地元の劇団の演劇や森繁哉さんの舞踏など県内の団体の招聘公演を行っていた。

特に第二回は倉庫の取り壊しに伴って、それまでなじみのあった東京の劇団青年団（平田オリザ主宰）や鶴岡出身で元NHK交響楽団のピオラ奏者渡部啓三氏を招いて2ヶ月にわたって、演劇・朗読・音楽・映画等様々なジャンルの公演を行って、広く町内外から観客を集めた。

2023年、鶴岡市に場所を移して20年ぶりに遊劇祭を開催した

1. 取り組みの背景・事業目的

【実施背景（地域特性・その他）】

どこの地域でも音楽や演劇をしている人たちがいるが、地域の中でその活動を見る機会は多くない。文化的な催しは、人が動くことによって少なからず地域の活性化に寄与すると考えている。今回は、趣のある旧小池薬局恵比須屋本店をみんなの紹介する意味も込めて使わせてもらった。

【事業目的】

演劇やダンスを日業の中でより身近なものに感じてもらうと共に地域（新潟・山形・仙台）で活躍する表現者を庄内の方々に紹介する。また、他地区から人が集まるコンベンション的な場として鶴岡市中心部の活性化に寄与する場としたい。同時に舞台芸術関係者が交流する機会としたい。

2. 実施計画

演劇やダンスをより身近な体験とするため、あえて小さな空間での上演を選択。国の指定文化財である旧小池薬局恵比寿屋本店の2階を借り、新潟・山形・鶴岡の劇団やダンサーの短いオリジナル作品の公演を5演目上演。

- チラシ配布開始 チケット発売開始、5/6（土）、7日（日）チラシ配布（劇王新潟：新潟市民文化5/1（月）会館りゅーとぴあ）、5/21（日）チラシ配布予定（天賦典式：酒田市民会館）
- 5/28（日） チラシ配布（春秋山伏記：鶴岡市中央公民館）、6/3（土）チラシ配布（きらめく星座：川西フレンドリープラザ）
- 6/29（木）機材搬入
- 6/30（金） 会場設営・仕込み（椅子・平台・暗幕・音響・照明）実行委員が会場搬入・設置
- 7/1（土）本番① ② 記録機材搬入（本番撮影）
- 7/2（日）本番③ 撤収作業
- 11/上旬 DVD完成

3. 実施状況 (①)



【実施内容】

まちづくりスタジオ鶴岡さんから文化財でもある旧小池薬局恵比寿屋本店の二階フロアを借用し、実行委員会が平台や箱足、カーペットを持ち込み、暗幕を貼って特設の舞台空間を設営した。

会場準備

2023年6月29日（木） 平台搬入

2023年6月30日（金） 客席設営、照明音響仕込み、

暗幕設置 リハーサル

公演

2023年7月1日（土） 午後2時 午後6時

2日（日） 午後2時

3. 実施状況 (②)



【実施内容】

出演は新潟市や山形市の劇団やダンサー、地元庄内のダンサー4団体で、演者と距離の近い小劇場的な空間。各団体30分の短い時間の演目で5つ団体で2時間の舞台を3公演上演した。

出演：

劇団アンダンテ（新潟・山形・演劇）

塩会（新潟 演劇）

全力演劇（山形）

加藤由美（山形 ダンス）

菊地将晃 秦玉美（鶴岡 ダンス）

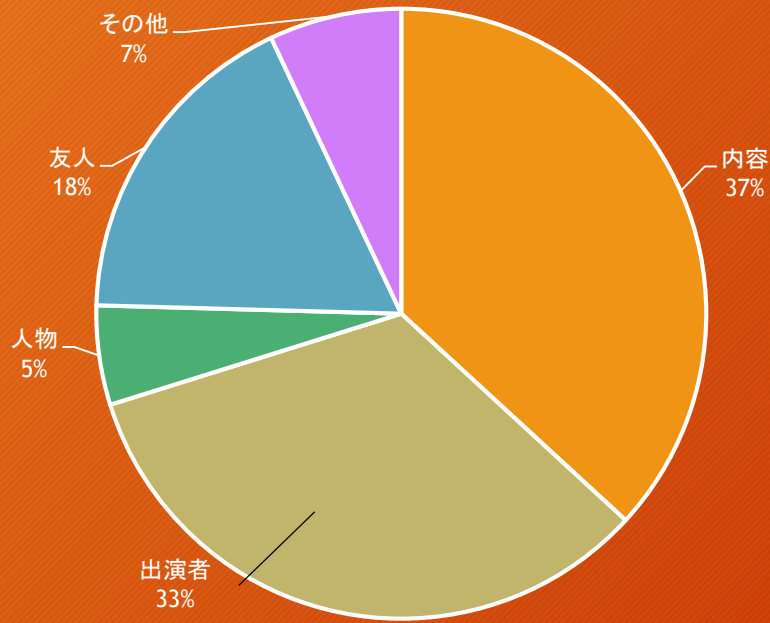


後援 鶴岡市教育委員会 まちづくりスタジオDaDa
協力 劇団いでは 表現集団エッグ・プロジェクト

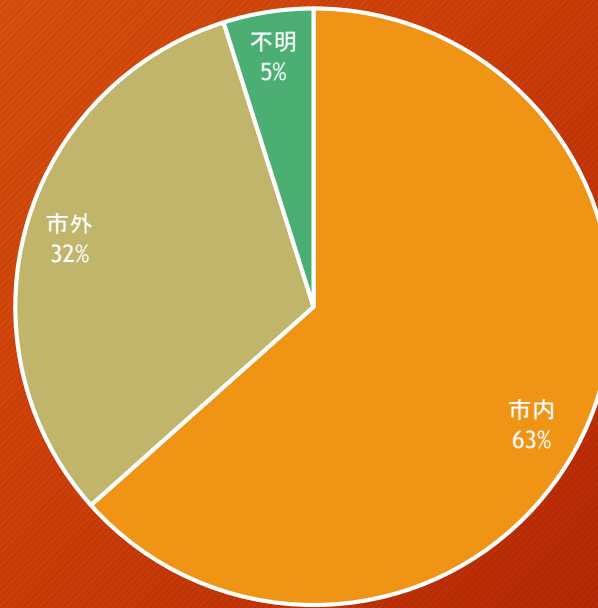
★アンケートの結果

アンケート回収率 41/80 51.2%

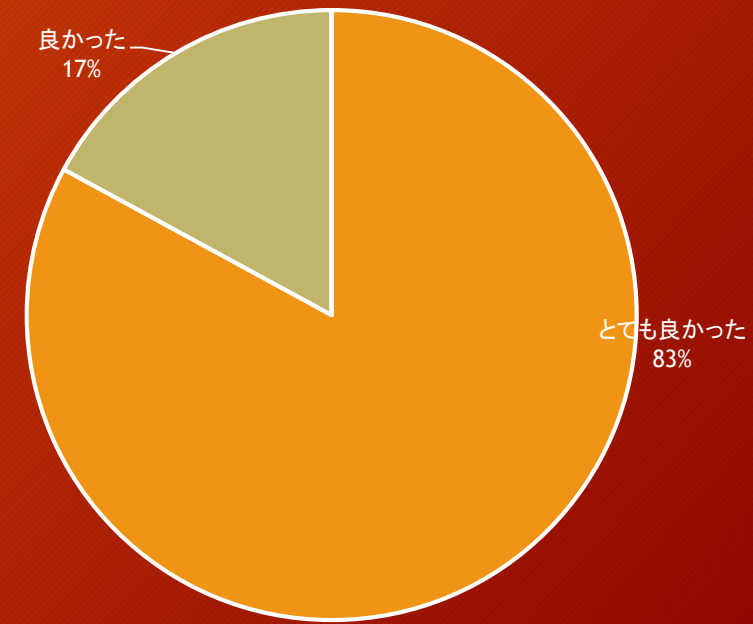
観劇の動機(複数回答可)



居住地



内容について



アンケートの感想（抜粋）

・恵比寿ビルの空間で観劇できたこと、振動や波動まで感じられる演者と観客の距離感がぜひいたくなあとしみじみ思いました。趣の異なる5つの作品を一度に味わうことができ、とても楽しかったです。鶴岡で演劇や舞踊の濃い体験ができるのを楽しみにしています。すてきな一時を直ぐ過ごすことができました。皆様に感謝です。立地的に、観劇後近くで食事できました。こういう休日の過ごし方も良いなあと。次回が楽しみです。

・恵比寿ビルの空間で観劇できたこと、振動や波動まで感じられる演者と観客の距離感がぜひいたくなあとしみじみ思いました。趣の異なる5つの作品を一度に味わうことができ、とても楽しかったです。鶴岡で演劇や舞踊の濃い体験ができるのを楽しみにしています。すてきな一時を直ぐ過ごすことができました。皆様に感謝です。立地的に、観劇後近くで食事できました。こういう休日の過ごし方も良いなあと。次回が楽しみです。

・久しぶり本当に言葉のやり取りを生で聴き、心に魂に響きました。体の表現の迫力に田舎では味わえない時間を過ごさせていただきました。カニさん親子のギャグ、久しぶりに井上さんのこまつ座を連想しました。また、鶴岡に来てくださいませ、

・五者五様の舞台、とても面白かったです。今は、秋田に住んでいますが近々新潟に引っ越すかも知れず、色々調べていて本公演を見つめました。来て良かったです。秋田の劇にも興味を持っていただけたら幸いです。

4. 事業の成果と今後の課題

【事業の成果】

1回あたりの観客を35人とし、3回公演で105名の集客を目標としたが、観客数は3公演で80人とどまった。達成率は76.2%だった。ただ、酒田市、庄内町はもちろん、県外（新潟や秋田）、内陸など広いエリアから足を運んでいただいた。出演した劇団やダンサーのSNS情報やネットの情報かで来てくれた人が多いようだ。遠くから来られた方は公演だけを見て帰ってはいないようで、会場付近の飲食店の方から来客が増えたとの声を聞いた。文化振興の面からは新規開拓であり、地域間交流の観点からはコンベンションの役割を担い、鶴岡市銀座商店街の活性化に微力ながら貢献できたと思われる。

【今後の課題】

趣きのある会場だが、冷暖房がないため、暑さ対策がたいへんだった。

一回あたりの人数が限られているので、観客を増やすことが難しい。

周辺の企画と連携して周辺を含んだ地域活性化イベントとしていくことが望ましいと考える。